

令和元年度（第48回）川崎市文化賞等の受賞者が決定しました

1 川崎市文化賞等受賞者



〔川崎市文化賞〕
おおた たけひこ
太田 猛彦（教育）



〔川崎市文化賞〕
こくぶ ひろこ
国府 弘子（芸術）



〔川崎市文化賞〕
ふじしま ともこ
藤嶋 とみ子（文化活動）



〔川崎市社会功労賞〕
にし の ひろゆき
西野 博之（社会福祉）



〔川崎市アゼリア かがやき 輝賞〕
すずき なほこ
鈴木 菜穂子（芸術）



〔川崎市アゼリア かがやき 輝賞〕
ともかぜ ゆうた
友風 勇太（スポーツ）

2 川崎市文化賞等贈呈式・祝賀会 ※詳細は後日改めてお知らせいたします。

- (1) 日時 令和元年11月7日（木）午後2時～午後4時
- (2) 場所 川崎市国際交流センター

（問合せ先）

川崎市市民文化局市民文化振興室 担当 白井

電話 044-200-2122

<目 次>

	(ページ)
1 令和元年度川崎市文化賞等受賞者一覧	1
2 受賞者のプロフィール・略歴（敬称略）	
(1) 川崎市文化賞受賞者	
太田 猛彦	2
国府 弘子	4
藤嶋 とみ子	6
(2) 川崎市社会功労賞受賞者	
西野 博之	8
(3) 川崎市アゼリア輝賞	
鈴木 菜穂子	10
友風 勇太	12
3 令和元年度川崎市文化賞等選考委員	14
4 贈呈式	15
(参考)	
1 川崎市文化賞等実施要綱	16
2 川崎市文化賞等受賞対象分野、推薦基準等一覧表	18
3 これまでに受賞された方々	20
4 川崎市文化賞等の経過について	23

令和元年度 川崎市文化賞等受賞者一覧

(敬称略・令和元年9月17日現在)

賞	氏名	年齢	分野	住所
文化賞	おおた たけひこ 太田 猛彦	77	教育	埼玉県
	こくぶ ひろこ 国府 弘子	60	芸術	東京都
	ふじしま こ 藤嶋とみ子	75	文化活動	川崎市中原区
社会功労賞	にしの ひろゆき 西野 博之	59	社会福祉	川崎市高津区
アゼリア輝賞	すずき なほこ 鈴木 菜穂子	32	芸術	川崎市高津区
	ともかぜ ゆうた 友風 勇太	24	スポーツ	東京都

川崎市文化賞受賞者のプロフィール

おおた たけひこ
太田 猛彦

～市民に学びの場を～

大学・学会を中心とした豊富な職歴・役職歴の中で培った知識・経験を活かし、平成19年から「かわさき市民アカデミー」の講師を務められ、アカデミーの運営がNPOへ移管された平成23年には企画・運営委員会委員、副学長として、カリキュラム企画・編成から講師選定等の学習教育体制構築の中枢を担うなどアカデミーの発展に尽力され、平成25年には学長に就任されました。学長就任後も、全体の企画・調整を主導され、アカデミーが全国有数の規模・クオリティを持つ市民大学まで発展した業績は大きく、本市の生涯学習教育・市民文化の向上に貢献されております。



略		歴
氏名	太田 猛彦 様 (77歳)	
住所	埼玉県さいたま市	
職業等	かわさき市民アカデミー学長	
昭和53年	東京大学農学部助手 (～昭和55年)	
昭和55年	東京農工大学農学部講師 (～昭和60年)	
昭和60年	東京農工大学農学部助教授 (～平成2年)	
平成2年	東京大学農学部教授 (～平成8年)	
	治山懇話会世話人代表 (～平成20年)	
平成8年	東京大学大学院農学生命科学研究科教授 (～平成15年)	
	水文・水資源学会副会長 (～平成10年)	
平成9年	林野庁中央森林審議会委員 (～平成12年)	
平成10年	社団法人砂防学会会長 (～平成12年)	
平成12年	日本林学会 (現日本森林学会) 会長 (～平成14年)	
	日本学術会議会員 (第18期・第19期) (第19期 第6部幹事)	
平成13年	林野庁林政審議会委員 (平成15年～平成18年 会長代理) (～平成18年)	
	東京都森林審議会会長 (～平成21年)	
	森林・自然環境技術者教育会会長 (～平成22年)	
平成15年	東京大学名誉教授 (～現在)	
	東京農業大学地域環境科学部教授 (～平成21年)	
平成18年	日本森林管理協議会 (F S C ジャパン) 代表 (～現在)	
平成19年	日本緑化工学会会長 (～平成21年)	
	かわさき市民アカデミー講師	
平成22年	埼玉県森林審議会会長 (～平成26年)	
平成23年	森林保全・管理技術研究所代表理事 (～現在)	
	かわさき市民アカデミー副学長 (～平成25年)	
平成25年	かわさき市民アカデミー学長 (～現在)	
平成28年	さいたま緑のトラスト協会理事長 (～現在)	
平成30年	みえ森林・林業アカデミー学長 (～現在)	

川崎市文化賞受賞者のプロフィール

こくぶ ひろこ
国府 弘子

～ピアノ界のスーパーレディ～

川崎市出身のピアニストであり、昭和62年にデビューされてから、現在までに23枚のアルバムを国内外で発表され、演奏会はご自身のトリオからピアノソロ、またオーケストラとの競演など、幅広い活動で全国的な人気を集めています。平成21年より、川崎市市民文化大使に就任され、市内外へ本市をPRするなど、市のイメージアップに寄与されております。また、かわさきジャズなど本市の事業にも多数出演され、コンサートの企画演出やチャリティにも協力いただくなど、本市の文化芸術振興に多大な貢献をされております。



略		歴
氏名	国府 弘子 様 (60歳)	
住所	東京都世田谷区	
職業等	ピアニスト	
昭和62年	ビクターJVCレーベルと契約しデビュー	
平成9年	文化庁芸術家海外派遣制度でアメリカ留学	
平成13年	ヨーロッパツアー	
平成14年	アジアツアー	
平成15年	日本ASEAN交流記念イベント in ラオス	
平成17年	神奈川県立多摩高校 50周年式典 ミューザに出演	
平成21年	川崎市市民文化大使就任	
平成21年	アルテリッカしんゆり出演 (～平成22年)	
平成23年	「モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさき」にジャズアカデミー講師、出演 (～平成26年まで毎年)	
平成25年	アルテリッカしんゆり出演 (～平成26年)	
平成27年	かわさきジャズ出演	
平成28年	アルテリッカしんゆり出演 (～平成31年)	
平成28年	「拉致被害者家族を支援するかわさき市民のつどい」ミニコンサート出演	
平成29年	チャリティコンサート (川崎アゼリア) (～平成30年)	
平成30年	かわさきジャズ出演 佐山雅弘さん応援	

川崎市文化賞受賞者のプロフィール

ふじしま
藤嶋 とみ子

～文化で地域をつなぐ～

長年にわたり地域において日本舞踊の普及につとめられるとともに、川崎市総合文化団体連絡会理事長や中原区文化協会会長、今年度上演した本市共催の「川崎郷土・市民劇『日本民家園ものがたり』」の上演実行委員長を務めるなど、本市の文化芸術振興に貢献されております。また、川崎市の姉妹都市へ文化使節として訪問し、文化芸術による交流を進めるなど友好親善にも貢献された一方で、地域の高齢者介護施設や支援施設などをボランティアで訪問し、日本舞踊を舞う慰問活動に長らく取り組まれるなど、文化芸術を活かした地域貢献活動にも尽力されております。



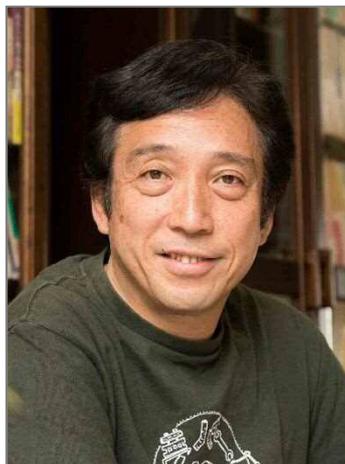
略 歴	
氏 名	藤嶋 とみ子 様 (75歳)
住 所	川崎市中原区
職 業 等	日本舞踊教授 中原区文化協会顧問 総合文化団体連絡会顧問
昭和39年	花柳流家元より普通部の名取りとなる。
昭和42年	専門部取得
昭和51年	アメリカ・テキサス大学講師 (日本舞踊)
昭和63年	リエカ市 (クロアチア) へ文化使節として訪問
平成4年	ボルチモア市 (アメリカ) へ文化使節として訪問
平成5年	瀋陽市 (中国) へ文化使節として訪問
平成12年	富川市 (韓国) へ文化使節として訪問
平成18年	中原区文化協会会長 (～平成28年)
平成18年	総合文化団体連絡会理事 (～平成28年)
平成20年	中原区区民会議委員 (～平成26年)
平成24年	総合文化団体連絡会理事長 (～平成26年)
平成24年	ザルツブルク市友好都市提携20周年における文化交流
平成24年	第37回かわさき市民祭り実行委員会委員長
平成28年	公益財団法人川崎市文化財団理事 (～現在)
平成28年	中原区文化協会顧問 (～現在)
平成28年	総合文化団体連絡会顧問 (～現在)
平成30年	川崎郷土・市民劇上演実行委員会委員長
平成30年	川崎能楽堂を市民に広めるための公演・日本舞踊などのイベント開催
平成30年	50周年中原区文化祭実行委員長

川崎市社会功労賞受賞者のプロフィール

にしひろゆき
西野 博之

～すべての子ども・若者に居場所を～

30年以上にわたり、不登校児童・生徒や高校を中退した若者の居場所づくりに取り組まれ、平成3年に「フリースペースたまりば」を開設して以来、これまでに2,000人以上の子ども・若者に寄り添い、支援してこられました。子どもの権利に関する日本初の総合条例である「川崎市子どもの権利に関する条例」の策定に関わった他、この条例を基に作られた「川崎市子ども夢パーク」の所長を務めるなど、川崎市の社会福祉の向上に多大な貢献をされ、子どもの権利や居場所の大切さを川崎から全国へ発信されています。



略 歴	
氏 名	西野 博之 様 (59歳)
住 所	川崎市高津区
職 業 等	認定NPO法人フリースペースたまりば理事長 川崎市子ども夢パーク所長 フリースペースえん代表 川崎若者就労自立支援センター「ブリュッケ」総合アドバイザー 精神保健福祉士
昭和61年	登校拒否児が通うフリースクールに専従
平成3年	「フリースペースたまりば」代表就任(～現在)
平成10年	「川崎市子どもの権利条例調査研究委員会」世話人(～平成12年)
平成13年	「川崎市子ども夢パーク推進委員会」委員(～平成15年) 「川崎市子ども夢パークにおける不登校児童・生徒に関する協議会」委員 (～平成17年)
平成14年	「かわさきチャイルドライン」開設時からの運営委員(～現在) 川崎市の委託で里親型「児童ファミリーグループホーム」開設(～平成21年)
平成15年	「川崎市教育プラン策定委員会(学校教育専門部会)」委員(～平成17年)
平成16年	「川崎市子どもの権利委員会」委員(～平成19年)
平成18年	「川崎市子ども夢パーク」所長就任(～現在) 「川崎市不登校対策連絡協議会」委員(～現在) 「神奈川県学校・フリースクール等連携協議会」委員(～現在)
平成25年	「2013 World Human Rights Cities Forum」(韓国) 講演
平成26年	全国福祉大会「青少年援助大会」(ドイツ) 講演 川崎若者就労自立支援センター「ブリュッケ」総合アドバイザー就任(～現在)
平成27年	「川崎市子どもの安全・安心な環境づくりに係る専門委員」 文部科学省「フリースクール等に関する検討会議」委員(～現在) 川崎市社会福祉事業功労者(市長表彰)受賞
平成29年	「2017 unicef child friendly cities conference & expo」(韓国) 講演 「かわさき子どもの権利フォーラム」副代表就任(～現在) 「川崎市発達障害者支援地域連絡調整会議」委員(～現在) 「川崎市社会福祉協議会第4期地域福祉活動推進計画策定委員会」委員 (～平成30年)
平成30年	日本ユニセフ協会「子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)委員会」委員
平成31年	神奈川県弁護士会人権賞受賞

川崎市アゼリア輝賞受賞者のプロフィール

すずき なほこ
鈴木 菜穂子

～川崎からフルートの響きを届ける～

洗足学園音楽大学大学院を首席で修了されたフルート奏者で、学生時代からプロとして様々なコンサートに出演され、テレビCM音楽を手がけるなど、ジャンルにとらわれない音楽活動を行っていらっしゃいます。川崎市高津区で音楽教室を主宰されている他、市内高齢者施設でミニコンサートを開催するなど地域貢献活動に尽力される一方で、ホールでの単独リサイタルコンサートや慰霊式典でのソロ演奏など、多岐に渡る演奏活動が評価され、昨年フランス社会功労奨励章を受章されるなど、今後の活躍が特に期待されます。



略		歴
氏名	鈴木 菜穂子 様 (32歳)	
住所	川崎市高津区	
職業等	フルート奏者・作曲家	
平成22年	洗足学園音楽大学専攻科器楽専攻 入学 (～平成23年)	
平成23年	洗足学園音楽大学大学院器楽専攻 (管楽器) 入学 (～平成25年) 「箏とフルートの調べ～名曲コンサート～」(川崎能楽堂) 開催	
平成25年	「第16回長江杯国際音楽コンクール」 管楽器部門第1位	
平成27年	「メロディアス田園都市音楽教室」 主宰 東京オペラシティリサイタルホール (東京都新宿区) リサイタル開催	
平成28年	汐留ホール(東京都港区) リサイタル開催 ドルチェ・アートホール Nagoya (愛知県名古屋市) リサイタル開催	
平成29年	鹿児島県霧島神宮における奉納演奏	
平成30年	「フランス社会功労奨励章」文化芸術部門オフィシェ (4等) 受章	
令和元年	「田園コンサート」(高津区糺ホール) 出演	

川崎市アゼリア輝賞受賞者のプロフィール

ともかぜ ゆうた
友風 勇太

～ふるさと川崎を相撲で元気に～

川崎で生まれ、川崎市立富士見中学校在校時から相撲に取り組み、高校・大学でも輝かしい実績を残され、大相撲の世界に入られました。初土俵から僅か2年という記録的なスピードで幕内力士へ昇進され、昇進後も連続で勝ち越し、今年7月の名古屋場所では殊勲賞を受賞されるなど、今後の更なる活躍が期待されます。また、市内で開催されることも相撲大会や節分祭にも参加するなど、地域貢献にも尽力されております。



略		歴
氏名	友風 勇太 様 (24歳)	
住所	東京都江東区	
職業等	日本相撲協会所属 幕内力士	
平成29年	大相撲入門 (日本相撲協会 尾車部屋所属) 5月東京場所 前相撲3戦3勝一番出世 7月名古屋場所 序の口7戦全勝で優勝 9月東京場所 序二段6勝1敗 11月九州場所 三段目7戦全勝 決勝戦を経て優勝	
平成30年	9月東京場所 幕下5勝3敗 場所後、十両昇進 11月九州場所 12勝3敗 十両優勝 「かわさき産業親善大使」 就任	
平成31年	3月大阪場所 東前頭十三枚目9勝6敗	
令和元年	5月東京場所 西前頭九枚目8勝7敗 7月名古屋場所 西前頭七枚目11勝4敗 殊勲賞	

令和元年度 川崎市文化賞等選考委員(敬称略・五十音順)

	氏 名	分 野	所 属
1	伊東 文生	保健衛生	聖マリアンナ医科大学教授
2	大仁田 雅彦	芸術 (演劇)	昭和音楽大学教授
3	川崎 一泰	産業経済	中央大学教授
4	久保田 昌希	学術 (人文科学-歴史学)	駒澤大学教授
5	田中 純子	芸術 (音楽)	洗足学園音楽大学名誉教授
6	角田 光広	スポーツ	テレビ神奈川報道制作局次長 兼スポーツ部長
7	林 容子	芸術 (美術)	尚美学園大学・大学院准教授
8	山田 健太	学術 (人文科学-言論学)	専修大学教授
9	行實 志都子	社会福祉	神奈川県立保健福祉大学准教授
10	加藤 順一	行政	副市長
11	向坂 光浩	行政	市民文化局長
12	石井 宏之	行政	教育次長

令和元年度川崎市文化賞等贈呈式について

- 1 日 時 令和元年11月7日(木)
14:00～15:00
(祝賀会 15:00～16:00)

- 2 会 場 川崎市国際交流センター
川崎市中原区木月祇園町2-2
電話044-435-7000(代)

- 3 式次第 開式
川崎市文化賞等贈呈
主催者あいさつ
来賓代表あいさつ
受賞者代表あいさつ
閉式

川崎市文化賞等実施要綱

(目的)

第1条 川崎市の文化、芸術、学術、教育、社会福祉、保健衛生及びスポーツ等の向上並びに及び発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対し、川崎市文化賞等を贈呈し、文化の向上及び発展に寄与することを目的とする。

(文化賞等の種類)

第2条 川崎市文化賞等の種類は、次の各号のとおりとする。

- (1) 川崎市文化賞
- (2) 川崎市社会功労賞
- (3) 川崎市スポーツ賞
- (4) 川崎市アゼリア輝(かがやき)賞

(主催)

第3条 川崎市文化賞等の主催は、川崎市とする。

(候補者の推薦)

第4条 川崎市文化賞等に係る受賞の対象となる候補者については、次に掲げるものから必要書類を添えた第1号様式又は第2号様式により推薦を受ける。

- (1) 市内の関係機関及び団体
- (2) 本市における局区室

(文化賞等の選考)

第5条 川崎市文化賞等に係る受賞者の選考は、川崎市附属機関設置条例(平成27年川崎市条例第1号)第2条及び第3条の規定に基づき、川崎市文化賞等選考委員会(以下「選考委員会」という。)が行う。

(選考基準)

第6条 受賞者は、川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある者で、次の基準に該当する者等のうちから、選考委員会の選考に基づき、市長が決定する。

- (1) 川崎市文化賞

川崎市における文化・芸術の向上・発展に尽力し、その功績が顕著と認められる者等又は教育・学術・芸術の分野において、創造的な活動・実績により川崎市のシティセールスにつながる成果をあげ、その功績が顕著と認められる者等

- (2) 川崎市社会功労賞

川崎市における市民生活や地域社会の向上・発展に多年尽力し、その功績が顕著と認められる者等

- (3) 川崎市スポーツ賞

国際大会や国内大会等で卓越した成績、記録をあげた者等又は川崎市におけるスポーツの向上・発展に多年尽力し、その功績が顕著と認められる者等

- (4) 川崎市アゼリア輝(かがやき)賞

文化・芸術分野において現在活躍中の若年層又は中堅層で、更に今後の活躍が特に期待さ

れる者、川崎らしい特色ある活動をしている者、特定の分野における抜群の成果を収めた者
等

(表彰)

第7条 第6条の規定により、決定した者について、賞状及び副賞を贈呈し、これを表彰する。

(特別賞)

第8条 市長は、この要綱に定めるもののほか、特に顕著な活躍をし、功績があった個人又は団体
に対し、選考委員会の選考を経ずに特別賞を贈呈することができる。

(庶務)

第9条 川崎市文化賞等に関する庶務は、市民文化局において処理する。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成3年7月24日から施行する。

附 則

この要綱は、平成14年5月29日から施行する。

附 則

この要綱は、平成15年5月27日から施行する。

附 則

この要綱は、平成17年9月12日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年5月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成31年3月1日から施行する。

川崎市文化賞等受賞対象分野、推薦基準等一覧表

	分野	推薦基準
文化賞	教育	<p>1 個人</p> <p>川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人であり、川崎市における文化の向上、発展に尽力し、また貢献し、とくにその功績顕著な者。</p> <p>2 団体</p> <p>概ね10年以上の継続した活動をしている団体であり、活動をとおして川崎市における文化の向上、発展にとくに貢献した団体。</p>
	学術	
	芸術	
	文化活動	
社会功労賞	社会福祉	<p>1 個人</p> <p>川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人であり、概ね10年以上の活動をとおして川崎市における市民生活の向上、発展にとくに貢献した者。</p> <p>2 団体</p> <p>概ね10年以上の継続した活動をしている団体であり、活動をとおして川崎市における市民生活の向上、発展にとくに貢献した団体。</p>
	保健衛生	
	産業・経済	
	地域振興	
スポーツ賞	スポーツ実践	<p>1 川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人又は団体であり、次のいずれかに該当</p> <p>(1) 国際大会入賞</p> <p>(2) 国内大会2年連続優勝又はこれに準じた成績</p> <p>(3) 競技人口が多く、レベルの高い国内大会に優勝又はこれに準じた成績</p> <p>(4) 日本新記録など特に優秀な記録</p> <p>※対象となる大会は、次のとおりとする。</p> <p>ア 国際大会</p> <p>オリンピック競技大会、世界選手権大会(ワールドカップ)、アジア大会、ユニバーシアード、パラリンピック、フェスピックその他これに準じた大会</p> <p>イ 国内大会</p> <p>日本選手権大会、全日本学生選手権大会、全国高校総合体育大会、国民体育大会、全国障害者スポーツ大会、その他これに準じた大会</p>
	スポーツ振興	<p>1 個人</p> <p>川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人であり、概ね10年以上の活動をとおして川崎市におけるスポーツの向上、発展にとくに貢献した者。</p> <p>2 団体</p> <p>概ね10年以上の継続した活動をしている団体であり、活動をとおして川崎市におけるスポーツの向上、発展にとくに貢献した団体。</p>

	分野	推薦基準
アゼリア輝賞	文化 芸術 スポーツ 実践等	<p>1 若年層及び中堅層の個人又は団体</p> <p>(1) 個展・演奏会・公演・講演等の活動において現在活躍中で、さらに今後の活躍が特に期待される個人又は団体。</p> <p>(2) 川崎らしい特色ある活動をしている個人又は団体、特定の分野における抜群の成果を収めた個人又は団体。</p> <p>(3) 各部門においてその年に顕著な業績をあげ、広く市民に希望と感動をもたらした個人又は団体。</p>

川崎市文化賞等をこれまでに受賞された方々(敬称略)

No. 1

昭和47年度(第1回)		昭和56年度(第10回)		昭和63年度(第17回)			
安藤 英輔 (研究活動)	奥田 千秋 (保健衛生)	井上 房江 (保健衛生)					
石川 八代次 (教育実践)	芹澤 忠蔵 (社会福祉)	竹田 道太郎 (芸術)					
伊藤 六郎兵衛 (郷土史研究)	野本 琢 (社寺建築)	土方 恵治 (教育)					
大古 誠司 (スポーツ実践)	藤子不二雄 (児童漫画)	水原 春郎 (地域医療)					
川崎市民交響楽団 (音楽)	京浜協同劇団 (地域文化)	三井 春富 (文化交流)					
斉藤 茂 (美術)	昭和57年度(第11回)		幸の会 (社会福祉)				
中原 誠 (一般文化)	植松 正子 (母子保健)	平成元年度(第18回)					
昭和48年度(第2回)		高野 榮 (障害者福祉)	内海 榮一郎 (地域医療)				
圓鍔 勝二[勝三] (美術)	田邊 秀治 (社会福祉)	奥田 良三 (芸術)					
笠井 儀郎 (スポーツ実践)	松原 秀耕 (文化振興)	柏木 武司 (社会福祉)					
庄野 潤三 (文芸)	山田 太一 (文芸)	亀ヶ谷 利男 (文化財保護)					
高島 松柏 (教育実践)	川崎古式消防纏保存会 (文化財保護)	手塚 彌太郎 (産業振興)					
日本鋼管株式会社硬式野球部 (スポーツ実践)	川崎青年会議所・高津青年会議 (地域文化)	野谷 博司 (教育)					
昭和49年度(第3回)		昭和58年度(第12回)		三宅 忠雄 (保健衛生)			
太田 清一 (保健衛生)	嘉重 きよ (社会福祉)	東芝女子バスケットボール部 (スポーツ実践)					
小笠原 洪一 (スポーツ実践)	古尾谷 盛太郎 (地域文化)	平成2年度(第19回)					
金子 直蔵 (社会福祉)	前田 徳尚 (保健衛生)	石川 幾蔵 (地域文化)					
山室 静 (文芸)	森 爽海 (教育)	一ノ瀬 志郎 (保健衛生)					
結城 正雄[天童] (美術)	川崎市歯科医師会心身障害児 (社会福祉)	小川 信夫 (教育)					
昭和50年度(第4回)		歯科治療協力医グループ		小黒 恵子 (芸術)			
川嶋 廣吉 (保健衛生)	科学技術学園高等学校 (スポーツ実践)	小西 乾太郎 (文化振興)					
齋藤 壽一 (絵画)	川崎野球部<通信制>	濱田 靖一 (学術)					
島田 きみ (社会福祉)	人形劇団ひとみ座 (演劇)	さざなみ会 (社会福祉)					
藤田 親昌 (文化振興)	昭和59年度(第13回)		法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)				
松尾 興助 (社会教育)	石川 芳松 (文化財保護)	アメリカンフットボール部					
昭和51年度(第5回)		磯野 和久 (保健衛生)		平成3年度(第20回)			
大山 義隆 (保健衛生)	臼田 吉男 (保健衛生)	文化賞 井上 和賀雄 (教育)					
國枝 慶一 (社会福祉)	小野寺 章彦 (スポーツ実践)	市川 昭介 (芸術)					
久保 常晴 (学術)	柏倉 政男 (社会福祉)	日本電気玉川吹奏楽団 (芸術)					
濱田 庄司 (美術)	小林 英男 (地域文化)	社会功労賞 安藤 武次 (社会福祉)					
まど・みちお (文学)	長江 録弥 (芸術)	松田 文太郎 (保健衛生)					
多摩芸術学園「わが町一溝の口」(演劇)	前田 豊子 (教育)	三木 齊 (産業経済)					
構成・出演者一同	法政大学第二高等学校ハレホール部 (スポーツ実践)	スポーツ賞 山田 敬蔵 (スポーツ振興)					
昭和52年度(第6回)		昭和60年度(第14回)		東芝野球部 (スポーツ実践)			
高橋 憲太郎 (文化振興)	井田 潔 (保健衛生)	富士電機女子ハレホール部 (スポーツ実践)					
馬來田 善孝 (美術)	岡 時義 (社会福祉)	平成4年度(第21回)					
宮田 多良喜 (スポーツ振興)	栗田 正文 (保健衛生)	文化賞 渋谷 益左右 (文化活動)					
川崎沖縄芸能研究会 (文化財保護)	馬場 あき子 (芸術)	杉山 康彦 (学術)					
昭和53年度(第7回)		坂東 忠彦 (教育)		谷川 健一 (学術)			
麻生 三郎 (美術)	米山 市郎 (地域文化)	萩坂 桃彦 (芸術)					
渡辺 三郎 (保健衛生)	禰直舞保存会 (文化財保護)	東芝科学館 (文化活動)					
市川 昇 (文化振興)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)	社会功労賞 市川 ハル (社会福祉)					
小向・菅・初山の獅子舞保存会 (文化財保護)	フェンシング部	鈴木 清次 (地域振興)					
河上 徹太郎 (文芸)	昭和61年度(第15回)		渡邊 嘉造伊 (保健衛生)				
東芝野球部 (スポーツ実践)	小田切 純一 (医療)	スポーツ賞 NKKハスケートボール部 (スポーツ実践)					
中山 貞治 (社会福祉)	小林 明治 (障害者福祉)	平成5年度(第22回)					
昭和54年度(第8回)		白井 禄郎 (教育実践)		文化賞 岩谷 隆存 (教育)			
青江 舜二郎 (演劇)	田中 岑 (芸術)	古江 亮仁 (文化財保護)					
石井 展子 (社会福祉)	沼田 稲次郎 (教育実践)	村上 直 (学術)					
齋藤 武雄 (スポーツ振興)	科学技術学園高等学校 (スポーツ実践)	社会功労賞 近藤 正夫 (保健衛生)					
田中 利三 (保健衛生)	川崎<通信制>卓球部	川崎信用金庫 (地域振興)					
箕輪 敏行 (社会教育)	水車の会 (社会福祉)	スポーツ賞 小林 完一 (スポーツ振興)					
新城郷土芸能保存会 (文化財保護)	昭和62年度(第16回)		早川 友二 (スポーツ実践)				
昭和55年度(第9回)		猪熊 和吉 (地域文化)		檜森 祐之 (スポーツ実践)			
岡 信孝 (芸術)	西郷 信綱 (学術)	平成6年度(第23回)					
鈴木 弘治 (保健衛生)	鈴木 正 (教育)	文化賞 飯嶋 和夫 (教育)					
松井 浩正 (スポーツ振興)	中野 一雄 (スポーツ振興)	湯上 二郎 (教育)					
持田 春吉 (社会教育)	二階堂 龍夫 (芸術)	小澤 征爾 (芸術)					
横山 央 (社会福祉)	古沢 妙 (社会福祉)	社会功労賞 高士 利男 (保健衛生)					
川崎少年少女合唱団 (地域文化)	馬嶋 正雄 (保健衛生)	中島 忠三 (地域振興)					
	梓の会 (社会福祉)	李 仁夏 (社会福祉)					

平成6年度(第23回)(続き)		平成13年度(第30回)(続き)		平成20年度(第37回)	
社会功労賞	近藤 俊朗 (社会福祉) 原 泰造 (社会福祉)	社会功労賞	壁 義彰 (社会福祉) 窪田 敏昭 (保健衛生) 小峯 利一 (産業経済)	文化賞	与 勇輝 (芸術) 佐藤 忠男 (芸術)
スポーツ賞	高橋 三代子 (スポーツ実践) 神奈川県立住吉高等学校 (スポーツ実践) フライング部LANCERS			社会功労賞	宮川 政久 (保健衛生) 和田 義盛 (地域振興)
平成7年度(第24回)		平成14年度(第31回)		平成21年度(第38回)	
文化賞	小川 一朗 (学術) 久保 陽子&弘中 孝 (芸術) 岡本 喜八 (芸術)	文化賞	中島 豪一 (文化活動) 民具製作技術保存会 (文化活動)	スポーツ賞	川崎市立橋高等学校 (スポーツ実践) ハレーボール部 富士通女子バスケットボール部 (スポーツ実践)
社会功労賞	野呂 幸進 (社会福祉) 田中 忠一 (保健衛生) 高橋 隆天 (地域振興)	社会功労賞	芽の字会 (社会福祉) 松尾 成久 (保健衛生) 持田 俊夫 (産業経済)	アゼリア輝賞	大矢 高弓 (芸術(美術)) 廣田 美穂 (芸術(音楽))
スポーツ賞	隆三杉 太一 (スポーツ実践) 成田 真由美 (スポーツ実践)			国際貢献特別賞	中込 璋 (平和活動)
平成8年度(第25回)		平成15年度(第32回)		平成22年度(第39回)	
文化賞	碓井 正久 (教育) 麻生フルハーモニー管弦楽団 (芸術) 齋間 萬 (文化活動) 中川 竹泰 (文化活動)	文化賞	神奈川県立多摩高等学校 (芸術) 合唱部 齋藤 文夫 (文化活動)	文化賞	加古 里子 (芸術) 佐藤 征一郎 (芸術)
社会功労賞	馬嶋 喜多子 (社会福祉) 鈴木 正一 (保健衛生) 日本アイ・ピー・エム株式会社 (地域振興) 川崎事業所	社会功労賞	大谷 金一 (社会福祉) 栗山 覚 (保健衛生) 吉野 辰男 (地域振興)	社会功労賞	金子 忠雄 (社会福祉) 久保木 弘 (保健衛生) 朝日 健太郎 (スポーツ実践) 左澤 重明 (スポーツ振興)
スポーツ賞	三菱自動車川崎硬式野球部 (スポーツ実践)	スポーツ賞	三菱ふそう川崎硬式野球部 (スポーツ実践) 加藤 時太郎 (スポーツ振興)	アゼリア輝賞	大類 朋美 (芸術(音楽)) 真飛 聖 (芸術(演劇))
平成9年度(第26回)		平成16年度(第33回)		平成23年度(第40回)	
文化賞	篠原 一 (教育) 東芝ラドオン・ジャズ・オーケストラ (芸術) 今村 昌平 (芸術) 無羅多 正建 (文化活動)	文化賞	原田 尚彦 (学術) 大矢 紀 (絵画) 角田 益信 (郷土史)	文化賞	藤嶋 昭 (学術・教育) 白鳥 あかね (芸術(映画))
社会功労賞	小川 玉子 (社会福祉) 田辺 誠 (保健衛生)	社会功労賞	白野 明 (社会福祉) かわさき自然調査団 (地域振興)	社会功労賞	大山 泰弘 (社会福祉・産業経済) 太田 正治 (保健衛生) 中山 茂 (産業経済・地域振興)
スポーツ賞	上野 富夫 (スポーツ振興)	スポーツ賞	目黒 友薫 (フェンシング) 李 相日 (映画(監督)) 三瓶 将廣 (ハイクルモクロス)	スポーツ賞	車 耕作 (スポーツ振興) 小林 政高 (芸術(音楽)) 光岡 暁恵 (芸術(音楽)) 東芝野球部 (スポーツ実践) 川島 永嗣 (スポーツ実践) 稲本 潤一 (スポーツ実践) 中村 憲剛 (スポーツ実践) 中村 俊輔 (スポーツ実践) 森本 貴幸 (スポーツ実践) 鄭 大世 (スポーツ実践)
平成10年度(第27回)		平成17年度(第34回)		平成24年度(第41回)	
文化賞	芳賀 周一郎 (教育) 藤村 志保 (芸術) 細山郷土資料館 (文化活動)	文化賞	横山 榮二 (環境保全) 鶴澤 久 (能楽)	文化賞	青木 信雄 (教育) 井口 衛 (教育) 高野 映子 (文化活動)
社会功労賞	林 壽男 (社会福祉) 田山 四郎 (保健衛生) 福嶋 三郎 (産業経済)	社会功労賞	安藤 國男 (障害者福祉) 斉藤 二郎 (地域福祉) 田中 辰彦 (地域医療)	社会功労賞	朗読ボランティアグループ「さんざし」 (社会福祉) 小島 春男 (地域振興) (財)川崎市国際交流協会 (地域振興) 日本語講座ボランティア 後藤 正孝 (ピアノ)
スポーツ賞	佐々木 竹見 (スポーツ実践) 日野原 守 (スポーツ振興)	スポーツ特別賞	中田 大輔 (トランポリン) 神谷 百子 (芸術(音楽)) 松下 京介 (芸術(音楽))	スポーツ特別賞	宇津木 瑠美 (スポーツ実践)
平成11年度(第28回)		平成18年度(第35回)		平成25年度(第42回)	
文化賞	杉本 長治 (教育) 三輪 晃久 (芸術)	文化賞	小川 典子 (ピアノ) 小池 汪 (写真) 藤田 朝也 (演劇)	文化賞	江頭 秀夫 (文化活動) 和田 あき子 (文化活動) 萩原 保夫 (社会福祉) 間瀬 実 (保健衛生)
社会功労賞	電機連合神奈川県地方協議会 (社会福祉) 池田 宏 (保健衛生) 栗原 福蔵 (産業経済) 間島 快子 (地域振興)	社会功労賞	奥村 栄 (社会福祉) 杉浦 芳子 (地域医療)	社会功労賞	朗読ボランティアグループ「さんざし」 (社会福祉) 小島 春男 (地域振興) (財)川崎市国際交流協会 (地域振興) 日本語講座ボランティア 後藤 正孝 (ピアノ) 宇津木 瑠美 (スポーツ実践)
スポーツ賞	伊東 浩司 (スポーツ実践)	アゼリア輝賞	後藤 正孝 (芸術(音楽)) 平原 綾香 (芸術(音楽))	スポーツ特別賞	宇津木 瑠美 (スポーツ実践)
平成12年度(第29回)		平成19年度(第36回)		平成26年度(第43回)	
文化賞	篠田 卓夫 (教育) 渡辺 豊重 (芸術) 吉田 喜重 (文化活動)	文化賞	秋山 和慶 (音楽) 森川 定實 (平和運動)	文化賞	(公財)東京交響楽団 (芸術)
社会功労賞	小林 五代子 (社会福祉) 工藤 昭 (産業経済)	社会功労賞	石井 哲夫 (社会福祉) 小泉 一郎 (産業経済)	アゼリア輝賞	垣内 悠希 (芸術(音楽)) 毛利 文香 (芸術(音楽))
スポーツ賞	東芝男子バスケットボール部 (スポーツ実践) 伊丹 寅吉 (スポーツ振興)	スポーツ賞	法政大学アムカンフットボール部 (スポーツ実践) 春日山部屋 (スポーツ振興)	スポーツ特別賞	市立橋高等学校女子バレーボール部 (スポーツ実践) 立石 諒 (スポーツ実践)
平成13年度(第30回)		平成20年度(第37回)		平成27年度(第44回)	
文化賞	森久保 安美 (教育) 名渡山 兼一 (文化活動) 上田 恒三 (文化活動)	アゼリア輝賞	須藤 梨菜 (芸術(音楽)) 成海 璃子 (芸術(演劇))	社会功労賞	高橋 章 (保健衛生) 都倉 正明 (産業・経済) 飯田 和子 (地域振興)
		スポーツ特別賞	東芝野球部 (スポーツ実践)		

平成25年度(第42回)(続き)		平成30年(第47回)	
スポーツ賞	井端 弘和 (スポーツ実践)	文化賞	法政大学第二高等学校物理部 (教育)
	柿生青少年柔道会 (スポーツ振興)		三輪 修三 (学術)
アゼリア輝賞	内田 けんじ (芸術(映画))	社会功労賞	嶋 元 (保健衛生)
	昆 夏美 (芸術(音楽))	スポーツ賞	法政大学第二高等学校ハンドボール部 (スポーツ実践)
スポーツ特別賞	大久保 嘉人 (スポーツ実践)	アゼリア輝賞	大間々 昂 (芸術)
	東芝ブレイブサンダース神奈川 (スポーツ実践)		特定非営利活動法人カワサキミュージックキャスト (文化活動)
平成26年度(第43回)		スポーツ特別賞	河合 来夢 (スポーツ実践)
文化賞	城谷 護 (文化活動)		川崎フロンターレ (スポーツ実践)
	寺尾 嘉剛 (文化活動)		富士通フロンティアーズ (スポーツ実践)
	奈良岡 朋子 (芸術)		家長 昭博 (スポーツ実践)
	炉端の会 (文化活動)		
社会功労賞	井田 満夫 (保健衛生)		
スポーツ賞	東芝ブレイブサンダース神奈川 (スポーツ実践)		
アゼリア輝賞	細川 千尋 (芸術(音楽))		
	三寺 郷美 (芸術(ダンス))		
スポーツ特別賞	浜田 千穂 (スポーツ実践)		
	大久保 嘉人 (スポーツ実践)		
	富士通フロンティアーズ (スポーツ実践)		
平成27年(第44回)			
文化賞	大谷 康子 (芸術)		
	小原 孝 (芸術)		
	長島 保 (文化活動)		
	渡辺 賢二 (教育)		
社会功労賞	新井 靖子 (社会福祉)		
アゼリア輝賞	赤瀬 紗也香 (スポーツ実践)		
	渡邊 麗美 (スポーツ実践)		
スポーツ特別賞	NECレッドロケッツ (スポーツ実践)		
	大久保 嘉人 (スポーツ実践)		
平成28年(第45回)			
文化賞	河原 郁夫 (文化活動)		
	鈴木 穆 (文化活動)		
	深見 政則 (文化活動)		
	影向寺重要文化財・史跡保存会 (文化活動)		
社会功労賞	渡邊 嘉久 (保健衛生)		
スポーツ賞	川崎フロンターレ (スポーツ振興)		
アゼリア輝賞	やまだ 豊 (芸術)		
スポーツ特別賞	東芝ブレイブサンダース神奈川 (スポーツ実践)		
	山口 貴久 (スポーツ実践)		
	富士通フロンティアーズ (スポーツ実践)		
	中村 憲剛 (スポーツ実践)		
市民特別賞	成田 真由美		
平成29年(第46回)			
文化賞	小倉 美恵子 (文化活動)		
	川崎市立坂戸小学校合唱団 (文化活動)		
社会功労賞	高野 繁 (保健衛生)		
スポーツ賞	川島 哲男 (スポーツ実践)		
アゼリア輝賞	新井 卓 (芸術)		
	桑原 あい (芸術)		
スポーツ特別賞	NECレッドロケッツ (スポーツ実践)		
	ニック・ファジーカス (スポーツ実践)		
	川崎フロンターレ (スポーツ実践)		
	小林 悠 (スポーツ実践)		
	富士通フロンティアーズ (スポーツ実践)		

川崎市文化賞・社会功労賞・スポーツ賞・アゼリア輝賞・特別賞の経過について

川崎市文化賞等は、川崎市の文化、芸術、地域社会、市民福祉及びスポーツ等の各分野において、その向上及び発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対し、川崎市文化賞等を贈呈し、文化の向上及び発展に寄与することを目的とする。

1. 制定 昭和47年（第1回贈呈式 昭和47年11月3日）
 - (1) 平成3年度第20回を契機に川崎市文化賞を「川崎市文化賞・社会功労賞・スポーツ賞」に改正
 - (2) 平成15年度第32回に新たにアゼリア輝賞を新設
 - (3) 平成17年度第34回に特別賞を新設

2. 賞の内容

- (1) 賞状
- (2) 副賞 文化賞・社会功労賞・スポーツ賞（30万円）
アゼリア輝賞（10万円）、特別賞（10万円）
- (3) 記念品
 - ・文化賞・社会功労賞・スポーツ賞については、渡辺豊重氏デザインによるガラス作品「Heart for You」
 - ・アゼリア輝賞・特別賞については、平山義氏デザインによるガラス作品「燦」
※制作は東京ガラス工芸研究所

3. 受賞者総数

(昭和47年から令和元年まで)	個人	302	(特別賞を含む)
	団体	78	(特別賞を含む)
	計	380	

4. 分野別受賞者

() 内は団体（再掲）

文化賞		社会功労賞		スポーツ賞		アゼリア輝賞	
教育	31(1)	社会福祉	45(8)	実践	38(22)	学術	1
学術	10	保健衛生	43	振興	16(3)	音楽	17
芸術	55(9)	産業経済	9	合計	54(25)	美術	1
文化活動	52(14)	地域振興	13(4)			演劇	4
合計	148(24)	合計	110(12)			スポーツ	4
						その他	4(1)
						合計	31(1)

特別賞	
合計	37(16)

5. 令和元年度推薦依頼先 156件（大学・各種団体他）